

牛のアカバネ病予防接種のご案内

【アカバネ病とは】

アカバネウイルスによる牛等の感染症で、妊娠牛が感染すると流死産や産子の体形異常等を、子牛が生後感染すると脳脊髄炎を起こすことがあります。

- ・ 感染時期：ウイルスを運ぶヌカカ等が活動する夏～秋に感染する
- ・ 発症時期：流死産は晩秋、体形異常等は冬に多い
- ・ 治療法：なし。ワクチンにより予防することが可能

◎令和7年度の県内へのアカバネウイルスの浸潤状況

県内の牛飼養農家協力のもと、アカバネ病発生予察のために6月から11月の計4回定点観測をしましたが、アカバネ病抗体価の上昇（感染）は認められませんでした

【ワクチンは必要？】

免疫の無い牛が増加すると、ウイルスが侵入した際には地域での爆発的な感染につながる危険性があります。ワクチン接種※により万々に備えることができます。

本県におけるワクチン接種対象牛は6～11月の間に種付けする牛、および同時期に妊娠している牛です。

ワクチン接種を希望する方は、
家畜保健衛生所または診療獣医師にご相談ください。



神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 FAX 0463-58-5679